

九州工業大学基金 2019年度 活動報告書

Kyushu Institute of Technology



創立110周年記念建設事業「オープンラボコンプレックス(仮称)」完成予想図

2019年度開始事業



創立110周年記念 建設事業募金ご支援のお願い

オープンラボコンプレックス(仮称)の設置 ～産学協創を育む未来指向型研究施設に再整備～

2019年度に創立110周年を迎えたことを記念して、老朽化のため使用を停止した旧体育館をリノベーションし、効果的に利活用するため建設事業募金を開始いたしました。おかげをもちまして、2019年度は413件51,842千円のご寄附をいただきました。皆様からの暖かいご支援に心より御礼申し上げます。引き続き募集を行っておりますので、今後もご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

募金目標額 2億円(総事業費3億円) 募金期間 2019年4月～2021年3月



リノベーション



～完成予想図～

目的

- 企業ニーズに応えた独創性の高い研究を推進
- 異分野融合等によるオープンイノベーションを進展
- 優れた若手研究人材を育成+本学の研究レベルの向上

機能

- 九工大、地域産業界の最新技術のPR、企業と研究者、学生との連携を可能とする企業PRブース
- 産学民の枠を超えたコラボレーションを生み出すオープンカフェ
- 集中して学修でき、ICTラーニングも可能なアクティブラーニング・スペース
- セキュリティーを確保した環境での企業との共同研究を可能とする実験・研究ブース
- 他大学や企業等との連携、交流を促進するオープン・ラボ
- 研究室の枠を超えたコラボレーションを生み出すラーニング・コモンズ



創立110周年記念建設事業募金

<https://www.kyutech.ac.jp/fund/kikingaiyou/110th.html>



クラウドファンディングへのご支援

寄附金獲得による研究の活性化や学生の部活動の支援を目的として、2019年5月からこれまでに2件のクラウドファンディングを実施いたしました。今後多くのプロジェクトを公開してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

種別	プロジェクト名	実施期間	目標金額	達成金額	資金用途
寄附型	九工大から宇宙へ！超小型人工衛星「ふたば」!!	募集終了 (成立)	100万円	202万円	開発した人工衛星の打上げ費用
寄附型	九工大の挑戦！学生フォーミュラ日本大会での上位入賞を目指して	募集終了 (成立)	50万円	104万円	フォーミュラ用軽量ホイールの購入費、試走会への遠征費



衛星開発プロジェクト集合写真

ノートパソコン必携化に伴う経済的支援 Kyutech BYOD (Bring Your Own Device)

2019年度入学生から、ノートパソコンを必携としたことに伴い、経済的な事情によりノートパソコンを用意することが困難な学生に対して、特定資金(修学支援事業基金)によるノートパソコンの購入費用支援を行いました。

九州工業大学・明専会「学生プロジェクト」ご協賛のお願い

「学生プロジェクト」とは、学生グループによる自主的な課外活動として、技術系競技大会への参加や、ボランティアをはじめとした学内および地域に貢献できる企画を、学生自らが提案・実施する取組です。

本学では、学生が自主的かつ組織的に取り組むこのプロジェクトを通して、問題発見・解決能力を涵養し、自己の陶冶を図り、世界で通用する先導的リーダーシップを發揮できる創造的人材を育成しています。

世界で通用する高度技術者育成のため、学生が自ら学び、自ら考え研鑽する機会を与えていただきたく、「九州工業大学基金」を通して「学生プロジェクト」にご支援いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

KYUTECH AMBITIOUS



ロボカップサッカー中型リーグ日本大会2019で優勝



宗像市さつき松原海岸での清掃風景

支援内容

- 1回にご支援いただける金額につきましては、個人・企業様等問わず、千円からお待ち申し上げております。
- 一年度に30万円以上のご支援をいただきましたら、当該年度の学生プロジェクトに関する広報資料におきまして、ご氏名(名称)もしくはロゴマーク等の掲載をご提案いたします。
- 一年度に100万円以上のご支援のお申込入れを、複数年度にわたりご支援いただける場合は、学生プロジェクトにおきまして、ご氏名(名称)等を冠した特別賞の創設をご提案いたします。

特典

- 学生プロジェクトへのご支援は、国立大学法人に対する寄附としての取り扱いになりますので、税制上の優遇措置が適用されます。
- 毎年度末に当該年度の学生プロジェクト成果発表会を開催しております。ご支援をいただきました方には、この発表会にご招待いたします。

学生プロジェクトに関するお問い合わせ先

九州工業大学 学務課 学生・留学生支援係
〒804-8550 北九州市戸畠区仙水町1-1
TEL : 093-884-3050
Mail : gak-gakshien@jimu.kyutech.ac.jp



学生プロジェクト



<https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

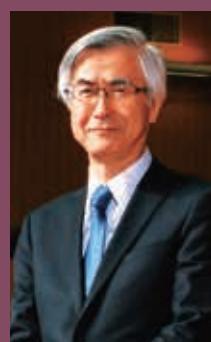
学長メッセージ ~活躍し続ける工学系人材の育成と知の創造で未来社会へ貢献してまいります~

平素より九州工業大学基金への温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学では、世界で通用する高度技術者育成のため、海外派遣をはじめ、学生に自ら学び自ら考える研鑽の機会を提供し続けるために、100周年記念事業を継承する形で、2016年6月から九州工業大学基金を立ち上げました。基金創設以降、多くの皆様から賜りました淨財は、学生の修学支援や課外活動支援、留学生支援等のため大切に活用させていただいております。

2019年度には、創立110周年を迎えたことを記念して、産業界との協創による一層の研究力向上、企業や地域の発展に貢献するため、建設事業募金を開始いたしました。施設整備の暁には、イノベーションの創出に寄与する工業系大学として、皆様のご期待にお応えできるように全力を尽くす所存でございます。

本年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により本学も様々な影響を受けておりますが、学生が経済的理由で修学を断念することのないよう、安心して修学できる環境を整えるため、今後も基金等による継続的な支援を行ってまいります。引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



国立大学法人九州工業大学 学長

尾家祐二

支援報告

博士後期課程社会人支援

生命体工学研究科生命体工学専攻
博士後期課程2年 下川 智子



大学院博士後期課程社会人学生奨学事業に採択いただき深く感謝申し上げます。

私は、民間企業で微生物利用に関する製品開発に携わっております。その一つ、*Bacillus thuringiensis*という細菌が産生する殺虫タンパク質を利用した殺虫剤(BT剤)は標的昆虫の特異性が高いことが知られており、蚊媒介感染症が問題となる国々では予防対策に利用されています。しかしながら、BT剤は保存中に殺虫活性が低下することがあり、これがBT剤の普及が遅れている一因となっています。このBT剤の活性低下の要因の1つに熱による活性低下があります。このメカニズムを解明し、保存中の活性維持を向上させるため、先生方のご指導をいただきながら研究を行っています。現在もCOVID-19の影ではデング熱などの感染者が増加しており、今まで以上に蚊の制御が必要とされているところです。今後も博士号の取得に向け研究活動に邁進し、得られた知識と経験を活かして一日も早く社会に貢献できるよう努めます。

最後に、ご支援いただきました九州工業大学の卒業生の皆様および企業の方々へ心より深く感謝申し上げます。

留学生支援

2019年度・2020年度飯塚留学生会長
情報工学府情報工学専攻 博士後期課程2年 イサン カリスマワン
Ihsan Charismawan



私は2017年4月に博士前期課程に入学し、現在博士後期課程2年生です。1年間、九州工業大学基金奨学金を受給させていただき、心よりお礼申し上げます。

2019年4月から博士後期課程へ入学しましたが、博士前期課程の頃に比べ、より自分の研究に集中しなければならず、厳しい学生生活となりました。特に私費でやりくりする留学生にとっては、学校生活とアルバイトの両立で日常生活を送らねばなりませんが、九州工業大学基金奨学金のおかげで、経済的な不安をあまり抱えることなく、研究に励むことができました。

最後に改めてこの奨学金に感謝の意を表します。私はきっと良い研究成果を修められると思います。

部活動・同好会への支援

メンネルコール部長
工学部マテリアル工学科2年 橋本 真吾

この度は九州工業大学基金から活動費をご支援いただき、本当にありがとうございます。男声合唱団メンネルコールは現在15名の部員達が日々合唱を通じて心を通わせています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントや歌を披露する場が失われ、また日々の練習においても様々な制約が課されている中で、試行錯誤しながら過ごしています。そのような状況の中での今回の支援は、私たちの背中を強く押してくれるものであり、部員一同定期演奏会に向けて身が引き締まる思いです。いただいた支援金は定期演奏会の会場費や広告費等にありがたく使わせていただきたいと思います。

今年の12月には定期演奏会が、来年にはメンネルコール・北九州下関合唱連盟両方の記念演奏会を開催する予定です。今後ともご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひします。



留学生交流事業への支援

○留学生歓送迎会 ○留学生会活動支援 ○国際友好の夕べ

本学留学生のため様々な活動を支援しています。ここでは2019年度に開催した国際友好の夕べの様子をご紹介します。

毎年12月に、本学留学生等の学業・生活においてご支援をいただいている団体や個人ボランティアの方々をお招きして、日頃の感謝を伝えるとともに、交流を深めていただくため「九州工業大学国際友好の夕べ」を開催しています。2019年度は、12月4日に戸畠キャンパスの中村記念館で開催し、3キャンパスの留学生及び外国人研究者をはじめ支援団体の方々など200名近くの参加者が集まりました。

戸畠留学生会長のポーランド人留学生が日本語と英語で司会を務め、若松キャンパスのメキシコ人留学生が留学生代表として挨拶をし感謝の意を伝えました。

また毎年会場を盛り上げる留学生のパフォーマンスも披露され、中国、インド、フランスの留学生たちが母国の歌や日本の歌謡曲を歌い、会場は大いに盛り上がりいました。

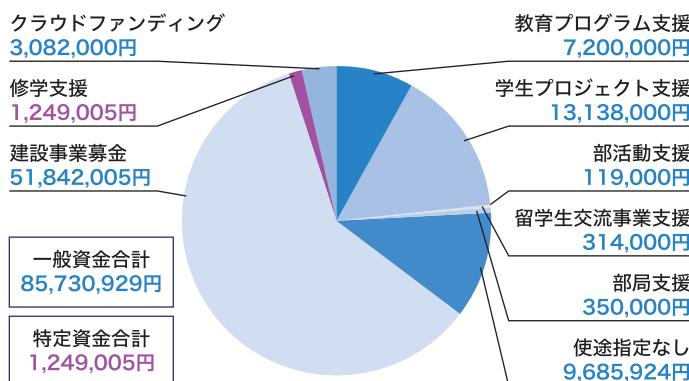


収支報告

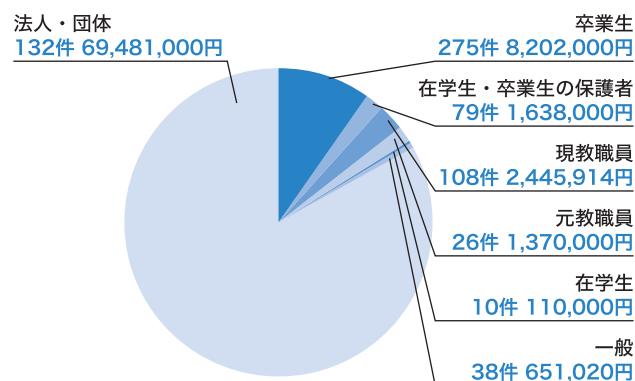
	一般資金	特定資金	合計
2019年度寄附額	85,730,929	1,249,005	86,979,934
利息	661,808		661,808
2019年度支出額	35,284,220	848,700	36,132,920
差引収支額	51,108,517	400,305	51,508,822

	一般資金	特定資金	合計
前年度からの繰越	223,291,972	4,854,300	228,146,272
差引収支額	51,108,517	400,305	51,508,822
次年度への繰越	274,400,489	5,254,605	279,655,094

2019年度収入

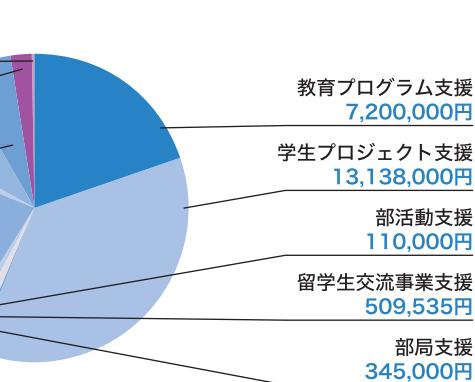


寄附目的別の内訳(利息を除く)



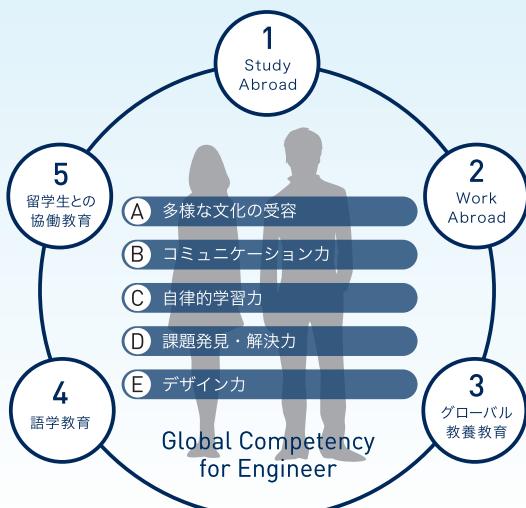
寄附者内訳(クラウドファンディングへの寄附を除く)

2019年度支出



学生海外派遣支援

グローバルに活躍する技術者に求められるコンピテンシー(GCE)の5つの各要素を効果的に学習(獲得)するため、学生の海外学習体験・海外就業体験を支援しています。





ご寄附をいただいた皆様 <芳名録>(2019年4月～2020年3月)



ここに、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただき、心より感謝の意を表します。

(氏名のご公表を希望されない方は、匿名にて表示しております。)

個人の方

相田	大星	憲三	義宏	武原	崎住	野崎	元喜子
木	大村	孝昭	厚	多田	住田	野田	慶範
青	岡崎	一美	様	辰巳	田中	田中	次敏
木	岡嶋	貴美子	様	後藤	勝一郎	田侯	彦德
星	緒方	元気	様	藤林	俊雄	村上	邦安
秋	岡部	茂光	様	小林	史典	倉部	圭介
海	岡村	竜二	様	柳林	大希	長谷	利昭
足	岡本	卓也	様	藤柳	茂	初馬	彦洋
立	岡本	正也	修	藤藤	寿	浜場	治洋
安	岡本	健夫	昭	藤在	樹	村場	和彦
部	小川	五次郎	基	田税	博	田口	尚助
阿	小川	孝利	青	田莊	三美	瀬田	勝育
部	小尾	幸	治	伯口	貴	林	秀貴
天	奥佐	英	昌	坂田	智	早原	浩正
網	坂口	守	暁	坂佐	文	原引	辰彦
有	温海	忠	修	佐實	武	地口	信辰
吉	貝本	秀	修	安川	善	樋口	俊仁
有	嘉梶	弘	一	川村	和	樋口	知之
吉	片原	眞	夫	川田	代	樋口	征八郎
安	金片	芳	一	山谷	矩	樋口	博
東	金山	一祐	夫	清章	寬	樋口	秀
井	嘉川	祐	司	路	二郎	樋口	和
井	河川	亮	明	小瀧	隆	樋口	敏
井	石川	和	典	瀧川	孝	樋口	之
井	田川	知	大	内谷	道	樋口	博
井	石丸	和	信	菅本	彦	樋口	和
井	和泉	東	剛	木本	昭	樋口	之
井	市来	伊藤	隆	木城	泰	樋口	之
井	伊東	井戸川	正	木村	亨	樋口	之
井	稻田	稲葉	操	藤原	清	樋口	之
井	稻塚	透	樹	寺戸	彦	樋口	之
井	上井	齊	幸	藤原	優	樋口	之
井	上井	三雄	幸	寺戸	介	樋口	之
井	上井	淳孝	也	寺戸	通	樋口	之
井	上井	真義	巧	藤原	司	樋口	之
井	今林	明義	己	木村	美	樋口	之
井	岩佐	頼正	修	城場	彦	樋口	之
井	崎村	剛	幸	藤工	英	樋口	之
井	植田	隆	浩	久	篤	樋口	之
井	浮梅	操	祐	久	彦	樋口	之
井	江尾	樹	照	久	太	樋口	之
井	横尾	昇	祐	久	地	樋口	之
井	大井	勇夫	富敏	保	司	樋口	之
井	大井	大	眞	本石	英	樋口	之
井	迫澤	大	英嗣	黑木	篤	樋口	之
井	澤田	大	英嗣	桑	一	樋口	之
鶴	大鶴	大	英嗣	古	陽	樋口	之
		鶴	英嗣	賀	紀	樋口	之
			英嗣	児玉	竜	樋口	之
			英嗣	辰也	一	樋口	之

匿名の方 144名様

法人・団体の方

iCAD株式会社様
アイシン・ソフトウェア株式会社様
株式会社iD様
アイム電機工業株式会社様
旭化成マイクロテクノロジ株式会社様
アスカコーポレーション株式会社様
有限会社荒金商会様
株式会社アルトナー様
イー・アンド・エム株式会社様
イサハヤ電子株式会社様
以和貴商事株式会社様
株式会社エジソン様
株式会社江藤製作所様
NECネクサソリューションズ株式会社様
株式会社エムティアイ様
株式会社オービック様
株式会社奥村組九州支店様
環境テクノス株式会社様
北九州日本語ボランティアの会様
九州NSソリューションズ株式会社様
九州計測器株式会社様
株式会社九州テン様
株式会社QTnet様
九電ビジネスソリューションズ株式会社様
QBキャピタル合同会社様
空研工業株式会社様
株式会社熊平製作所様
黒崎播磨株式会社様
小倉合成工業株式会社様
株式会社コマス様
株式会社ザザンクロスシステムズ様
株式会社佐電工様
山九株式会社様
三建設機械株式会社九州支店様
株式会社シー・アール・シー様
株式会社C&Gシステムズ様
JNC株式会社様
JFEプラントエンジ株式会社様

下村特殊精工株式会社様
ジャパンアス株式会社様
ジャパンファインスチール株式会社様
株式会社昭和システムエンジニアリング様
ショーボンド建設株式会社様
水道機工株式会社様
住友金属鉱山株式会社様
正晃株式会社 北九州営業所様
株式会社西部技研様
ゼネラルエンジニアリング株式会社様
千寿製薬株式会社様
株式会社ゼンリン様
株式会社ソフトウエア・サイエンス様
株式会社ソルネット様
第一精工株式会社様
大栄株式会社様
大電株式会社様
株式会社タカギ様
株式会社高田工業所様
株式会社タカミヤ様
株式会社谷口製作所様
株式会社千鳥屋本家様
中国化薬株式会社様
株式会社テクノス様
株式会社デンケン様
東珠株式会社様
戸畠活性化協議会様
株式会社戸畠製作所様
戸畠東口タリークラブ様
株式会社なうデータ研究所様
株式会社西日本シティ銀行様
ニシム電子工業株式会社様
株式会社ニチワ様
日鉄建材株式会社様
日販テクシード株式会社様
日本コンピューター株式会社様
日本製鉄株式会社 九州製鉄所八幡地区様
日本電気株式会社様

日本電蓄株式会社様
株式会社ネオジャパン様
株式会社ネットワーク応用技術研究所様
株式会社博多丸様
八光オートメーション株式会社様
濱田重工株式会社様
福地建設株式会社様
株式会社フジキン様
株式会社フジコー様
株式会社富士通ビー・エス・シー様
株式会社富士ピー・エス様
富士フィルムソフトウエア株式会社様
不二輸送機工業株式会社様
不動技研工業株式会社様
株式会社朋栄様
前田道路株式会社様
前田道路株式会社九州支店様
株式会社松尾設計様
株式会社マツシマメジャテック様
三島光産株式会社様
株式会社三井ハイテック様
三菱ケミカル株式会社様
ミハル通信株式会社様
一般社団法人明専会様
株式会社メイト黒崎様
株式会社安川電機様
安田先生嘉村賞受賞賀会出席者一同様
ヤマハモーターエンジニアリング株式会社様
横尾器械株式会社様
吉川工業株式会社様
株式会社吉川システム様
株式会社ラック様
株式会社リコー様
ローム・アポロ株式会社様
株式会社YE DIGITAL様
ワイジェイカード株式会社様
株式会社ワイビーエム様
若築建設株式会社九州支店様
匿名の法人・団体 9団体様

(掲載は五十音順)



鳴重 泰様

未来を創り世界を変える士君子の育成を応援したいと思います。

榎本 弘信様

コンピテンシーの高い学生を育てて下さい。

野田 匠利様

「大学にしかできないこと」をしっかりと意識して、有意義に寄付金を使って頂ければと思います。

株式会社昭和システムエンジニアリング様

微力ながら世界で通用する高度技術者の育成を心より応援しております。現在当社でも4名の九工大OBがSEとして活躍中です！

株式会社富士通ビー・エス・シー様

IT業界を牽引する人材への成長を期待しています。

岸原 謙様

視野が広く、考える力がある学生を育てて下さい。部活動への支援もお願いします。

相馬 功様

九州工業大学と地域企業とのつながりで、地域発の新しい産業を創出することを大変期待しています。特に北九州はものづくりに強みがあるため、製品開発、生産技術、量産プロセス等、実業に関連の深いテーマと大学のAI、素材、電気、機械等技術が融合した産業が育つと良いと考えております。

空研工業株式会社様

九工大OB生が、製品開発において大変すばらしい成果を上げております。これからも九工大生が様々な分野で活躍できるよう、寄付金という形でご支援したいと思います。

2020年度

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナ禍の影響により、生活が困窮している学生を支援するため、九州工業大学基金を活用した「コロナウイルス対策給付型奨学金(学生1人あたり50,000円)」による経済的支援を行いました。

(2020年8月末現在、給付者数373名 給付総額18,650,000円)

🔍 新型コロナ対策

<https://www.kyutech.ac.jp/fund/jigyouhoukoku/covid-19/>



ご寄附の申込方法について

1. Webサイトからのお申込み

九州工業大学基金ホームページから、下記の方法でお申込みいただけます。

- 銀行振込
- クレジットカード決済
- コンビニ決済
- ペイジー決済(インターネットバンキング)

🔍 九州工業大学基金

<https://www.kyutech.ac.jp/fund/>



2. 書面によるお申込み

九州工業大学基金事務局までご連絡ください。必要書類をお送りします。

税制上の優遇措置について

九州工業大学へのご寄附には税制上の優遇措置が適用されます。

ご寄附をいただいた後にお送りする領収書を確定申告の際、所轄の税務署にご提出ください。



お問い合わせ先

九州工業大学基金事務局

〒804-8550 福岡県北九州市戸畠区仙水町1-1
TEL : 093-884-3004 FAX : 093-884-3015
E-mail : kikin@jimu.kyutech.ac.jp

2020年9月発行

未来を思考する
「モノづくり」と「ひとづくり」